## 2022年度 授業シラバスの詳細内容

O基本情報	〇基本情報					
科目名	卒業研究(Graduation Thesis)					
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル 科目分野 ゼミナール				
単位数	6	配当学年/開講期	4 年 / 通年			
必修·選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。					
授業コード	P170305	クラス名	坂井研究室			
担当教員名	坂井 美穂					
履修上の注意、 履修条件	卒業研究着手条件を満たしていること。実験計画をしっかり練り、毎日実験するようにして下さい。 自ら学び、考え、行動してください。課題と出席を欠かさないでください。卒業論文、卒業研究発表 会と中間発表会での発表は必須です。 グループでの取り組みであっても、グループ内で役割分担をし、各自の取り組みを明確にします。					
教科書	適宜指示します					
参考文献及び指定図書	適宜指示します					
関連科目	これまでに履修した専門教育科目、教養基礎科目の全て					

**个女士结**却

〇基本情報					
授業の目的	配属研究室の教員の指導下で、与えられた研究課題について研究を実施します。学生は個人研究、共同研究に関係なく、期末に実施する情報メディア学科の卒業研究発表会で報告することが義務付けられその結果で考課を受けることになります。 学生はこの卒業研究の過程で、専門知識を活用するための技能とプレゼンテーション能力、チームで活動するためのコミュニケーション能力を身につけ、課題解決において多角的かつ柔軟な思考力をもち、新しい仕組みや分野の創造にも前向きに取り組みチャレンジする能力を身につけることを目的としています。そのため、卒業研究を通して、文献調査、研究計画立案、実験手法、データの解析と取りまとめ方など、研究全般における基本的な手法について修得すると共に、自分の考え方を取りまとめ、他人に理解してもらうことができる技術を養うことになります。				
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで 月1回、研究内容に関する報告会がで				
	(1)授業の形式	「演習等形式」			
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」			
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」			
地域志向科目	該当しない				
実務経験のある教員に よる授業科目	該当しない				

〇成績評価の指標			〇成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試 験・中間確	<b>提出物</b> (レポート・ 作品等)	<b>無形成果</b> (発表・そ の他)	
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野について問題意識と探究心を抱くことができる ②課題に対し、積極的に調査・分析・研究することができる ③継続して研究等を行い、締切をまもることができる。		10点	10点	
【知識·理解】	①自分の専門分野について自ら調査し、知識向上に努めることができる		20点	10点	
【技能・表現・ コミュニケーション】	①卒業研究報告書を書くことができる ②卒業研究報告書のプレゼンテーションができる		15点	10点	
【思考·判断·創造】	①研究計画を立案することができる。 ②適切な分析手法を選択することができる		15点	10点	

## 〇成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

提出物および発表がそれぞれ基準点の2/3以上を達成したものに対し、以下の評価を行う

|[Sレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標を満たしている。(合計点90点以上)

[Aレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標をほぼ満たしている。(合計点80点以上)

[Bレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標をかなり満たしている。(合計点70点以上)

|[Cレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標を一部満たしている。(合計点60点以上)

|[ロレヘル] 古席基準を満たし、がり、到達日標を一部満たしている。(音計点60点以、 |卒論発表会での発表内容および卒業研究論文、日常の実験の総合判断をします。

ー 間発表(必)、口頭審問①(必)、ポスターデモンストレーション(必)、なお、詳細な評価項目については講義時に説明を行っ

## 〇その他

卒業研究およびレポートの評価およびフィードバックについて

講義時に毎回、改善点等の指導を行い、指摘を受けたポイントについて、基準に達するまで複数回再提出を行ってください。

基準を満たしたもののみ成績評価の対象となりますので、必ず、指導を受け、その都度修正を行うようにしてください。

## 2022年度 授業シラバスの詳細内容

			2022年度 授業シ	フハヘの許和と	<b>기</b> 습	
〇授業計画	科 目 名 担当教員	卒業研究(Graduation Thesis)   坂井 美穂	授業コード   P170305	〇授業計画	科 目 名   卒業研究 (Graduation Thesis) 担当教員   坂井 美穂	<b>授業コード</b>   P170305
学修内容	,,==,,,,,,	,		学修内容		
	<b>革業研究についる</b>	<b>画</b> こ、計画を含めて解説する 組みを最低4時間以上行ってください。			<b>案1、実験</b> に向けた仮説検証と問題解決に取り組みます された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低	5.4時間以上行ってください。
<b>復習</b> ゼミでの <b>2. 実験計画</b> 卒業研究の立案に	の打ち合わせを踏 向け、過去の卒	向性について計画表を立てる(月例報告・実験計画) まえ、事前に作成した計画表の修正を行う 業論文から先輩方の取り組みについて学習します 再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくた	約2時間 約2時間 ださい。	復習 自分 10. 仮説の立 設定したテーマ	主の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 うで調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う <b>案2、実験</b> に向けた仮説検証と問題解決に取り組みます された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低	約2時間 約2時間 私4時間以上行ってください。
復習 ゼミでの 3. テーマ・文章	の内容を踏まえ、耳 <b>作成</b>	究論文を確認し、その取り組みをどのように行ったか調査をする 取り組みの修正や気づきについてまとめる :案し文章にまとめます。	約2時間 約2時間	復習 自分 11. 仮説の立	主の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う <b>案3、実験</b> に向けた仮説検証と問題解決に取り組みます	約2時間 約2時間
予習 卒研の 復習 ゼミでの 4. 月例報告・実 設定したテーマに向	テーマを決め、類 の内容を踏まえ、ま <b>ミ験計画</b> 向けた仮説検証。	F検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくた 似論文を探し、これから明らかにしたいことについてまとめてくる Eとめたレポートを修正する と問題解決に取り組みます F検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくた	約2時間 約2時間	予習 既往 復習 自分 12. 月例報告 設定したテーマ	された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低 主の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 予で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う ・実験計画 に向けた仮説検証と問題解決に取り組みます された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低	約2時間 約2時間
予習 明らか! 復習 仮説と 5. <b>仮説の立案</b> ・ 設定したテーマに向	にしたいことについ 検証方法の修正を <b>1、実験</b> 向けた仮説検証る	マスに関する取り組みを設成す時間以上行って、7 いて仮説を立て、その検証方法について調べてくる ・行い、文章化および計画の修正を行う と問題解決に取り組みます 再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってく7	約2時間 約2時間	予習 既往 復習 自分 13. プレゼン資 卒業研究での取	主の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 うで調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う	約2時間 約2時間 とめます
<b>復習</b> 自分で 6. <b>仮説の立案</b> 2 設定したテーマに向	調査・研究などに <b>2、実験</b> 句けた仮説検証。	等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 ついてまとめ、計画の修正等を行う と問題解決に取り組みます 再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくれ	約2時間 約2時間 ださい。	<b>復習</b> ゼミ <b>14. プレゼン</b> 紀 下級生からの研	uまでのレポートをもとに卒業論文の下書きおよびデータのまとめ(下記での指導を踏まえ、卒業論文及びデータのまとめの修正を行い、プレ 東 <b>習</b> 「究室訪問に対して対応します 「された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低	・ゼン用資料を作成する 約2時間
<b>復習</b> 自分で <b>7. 仮説の立案</b> 3 設定したテーマに向	調査・研究などに <b>3、実験</b> 句けた仮説検証る	等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 ついてまとめ、計画の修正等を行う と問題解決に取り組みます 「検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくた	約2時間 約2時間 ださい。	<b>復習</b> ゼミ <b>15. 報告(口頭</b> 取り組んだ口頭	はまでのレポートをもとに卒業論文の下書きおよびデータのまとめ(下記での指導を踏まえ、卒業論文及びデータのまとめの修正を行い、プレ <b>夏審問)</b> 「審問の後に取り組んだことを、プレゼンテーションします。 「に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上	ゼン用資料を作成する 約2時間
<b>復習</b> 自分で <b>8. 月例報告・実</b> 設定したテーマに向	調査・研究などに <b>ミ験計画</b> 句けた仮説検証る	等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 ついてまとめ、計画の修正等を行う と問題解決に取り組みます F検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってくた	約2時間 約2時間 ださい。		・ゼン資料を完成後、プレゼン内容についての確認を行い、個別指導? ・ゼンで質問された事項や指摘された事項についての追加分析・調査	
		等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。 ついてまとめ、計画の修正等を行う	約2時間 約2時間	予習 復習		